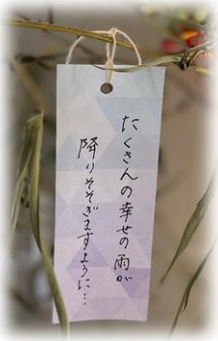
七夕での願い

７月７日は、七夕、織姫と彦星が年に一度再開する日であり、短冊に願いを書いて星に願う日です。今年も昨年と同様、本校ロビーにて学生や職員が各々短冊に願い事を書いて、笹に飾りました。

短冊には、学生全員が希望する進路に進むことや健康に１年を過ごすこと、趣味を充実させることなどの願いが込められていました。中でも、今年度は国家試験を控えていることもあり、国家試験合格を祈願する短冊が多くあったように思います。

国家試験まで残り２００日ほどとなりました。学生は、実習と並行して国家試験対策や看護研究に取り組まなければならず、忙しい日々が続きます。多忙な中でも毎日が充実したものとなるよう、一人ひとりが体調管理に努め、目的や目標をもって互いに支えあいながら、実習や勉学に励んでいけたらと思います。